

## 令和8年第425回信濃町議会定例会3月会議再開あいさつ

令和8年3月3日  
信濃町長 鈴木 文雄  
信濃町議会議事堂にて

本日ここに、令和8年第425回信濃町議会定例会3月会議の再開並びに本定例会に先立ちまして、一言ごあいさつ申し上げます。

議員各位におかれましては、公私ともに御多用のところ御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、世界に目を向けますと、先般のアメリカとイスラエルによるイラン攻撃により、中東地域における緊張が高まっております。こうした情勢は、エネルギー価格や物流を通じて、住民生活や地域経済にも少なからず影響を及ぼすことが懸念されます。

武力による衝突が拡大し、多くの人々の平穏な暮らしが損なわれることは大変痛ましいことであり、一日も早く事態が沈静化し、平和的な解決に向かうことを願っているところです。

次に、国内情勢ですが、2月8日に行われました総選挙を経て、第2次高市内閣が発足し、令和8年度当初予算及び税制改正法案の国会での審議が進められております。

令和8年度の政府予算案では、一般会計総額が昨年12月に過去最大規模として閣議決定がされており、物価高騰への対応と経済成長の両立を掲げ、家計負担の軽減、産業競争力の強化、防災・安全保障分野への対応を重点とする「責任ある積極財政」との方向性が示されたところです。

当町におきましても、国の指針を踏まえつつ、長年にわたり培ってきた歴史・文化をはじめ、景観や生態系の多様性といった、後世に継承すべき地域資源を町民の皆さまとともに一層磨き上げ、次の世代へ引き継いでいくことを念頭に、様々な施策に積極的に取り組んでまいります。

さて、本3月会議には、新年度当初予算案を上程しておりますので、はじ

めに予算の概要についてご説明をいたします。

編成にあたりましては、令和8年度が町制施行70周年という節目の年であることから、先人が築いてこられた70年の歩みを振り返るとともに、これを契機として新たな出発に挑戦する年と位置付け、「未来への投資」に重きを置いた予算編成に取り組んだところです。

特別会計4会計を含めた予算の規模であります。予算総額は約89億6,336万円で、前年度比で約3億9,500万円、率にして4.6パーセントの増となっております。予算が増額となった主な要因といたしましては、物価高騰に伴う諸経費の増加と人件費の増加が挙げられます。

また、新規・拡充事業といたしましては、給食費を一般会計化した上で、小学生の給食費を完全無償化し、中学生の給食費については、町が半額支援することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。さらには、信濃小中学校の暑さ対策として、空調設備の整備、スクールバスの更新を実施し、児童生徒の学習環境の向上と安全対策の充実につなげてまいります。

このほか、当町が誇る豊かな自然と景観の魅力を官民で協力して再定義するための自然資本活用推進事業や、地域活性化起業人制度を活用したグリーントランスフォーメーションに関する事業を推進することとしております。

これらを含めまして、事業の優先順位付けや財源の確保、行政運営の効率化を一体的に進めることを念頭に、限られた財源の中ではありますが、町民の皆さまの確かな暮らしを支える予算となるよう配慮いたしました。

それでは、一般会計、特別会計及び企業会計、合わせて8会計のそれぞれの予算案の概要について説明いたします。

一般会計につきましては、歳入歳出総額で67億4,400万円となりました。前年度当初予算と比較して4億4,450万円、率にして7.1パーセントの増となり、過去最大の予算規模となっております。

歳入でございますが、町税については、所得割額の増により、前年度と比較して1,953万円増の12億1,000万円を計上いたしました。

また、歳入の約45パーセントを占める地方交付税につきましては、給与

の改定や物価高騰の対応に要する経費分の上乗せを含め、普通交付税、特別交付税と合わせて7,000万円増の30億8千万円を計上いたしました。

続いて、国庫及び県支出金につきましては、2,655万円増の6億4,057万円を計上いたしました。国庫支出金では、情報システムの標準化対応に係る補助金が皆減となったこと等により2,176万円減の3億1,335万円、県支出金では小学校給食費負担軽減交付金等の皆増により4,831万円増の3億2,722万円となっております。

寄附金につきましては、ふるさと信濃町応援寄附金を令和6年度決算及び7年度の実績を踏まえ、1,500万円増の1億2,560万円を計上いたしました。

町債につきましては、将来において大きな公債費負担が生じないように発行の抑制に努めてきたところではありますが、信濃小中学校の空調及びLED改修工事や黒姫高原線ほか町道整備など、重要性和緊急度の高い事業に充当するため、前年度と比較して9,670万円増の4億7,150万円を計上いたしました。

財源不足補てんするための基金からの繰入れは、1億8,228万円増の5億5,927万円を計上し、特に財政調整基金から2億7,200万円の取崩しを予定しております。

続きまして、歳出についてご説明いたします。

1款、議会費につきましては、円滑な議会運営を図るため、新たに会議システムの導入に要する経費を含めて、147万円増の7,290万円を計上いたしました。

2款、総務費については、4,882万円増の11億2,274万円を計上いたしました。民間賃貸住宅建設費補助金の拡充と町制70周年記念事業に関する経費を盛り込んだところであります。また、役場庁舎の暑さ対策工事費として595万円を見込んでおります。

3款、民生費については、2,599万円増の13億4,738万円を計上いたしました。高校生以下を対象とした医療費の無償化の継続と、障がい者自立支援事業による給付費の増による扶助費を見込んだところであります。

4款、衛生費については、2億2,759万円増の12億274万円を計上いた

しました。診療所費では、新病院建設に係る元利償還金を含め、病院への繰出金は、1億4,657万円増の7億9,323万円となりました。また、清掃費では、し尿受入施設運営費として下水道会計への委託料及び負担金6,280万円を計上したところです。

5款、農林水産業費につきましては、2,204万円増の2億8,387万円を計上いたしました。農業振興費では、オーガニックビレッジ宣言の実現を目指し、環境に優しい農業推進として603万円を計上いたしました。

林務費につきましては、ニホンザルの位置情報を把握するため有害鳥獣駆除協議会への補助を増額いたしました。また、新たに自伐型林業推進事業補助金による林業事業者への支援を行い、林業振興と併せて景観保全への取り組みを強化いたします。

6款、商工観光費については、203万円減の1億3,390万円を計上いたしました。しなの鉄道の自動改札導入に伴い、駅運營業務の減少による委託費350万円が減額となります。また、長野県宿泊税を活用しながら、誘客宣伝費を321万円拡充するなど、観光誘客の強化と地域経済の活性化に向けた取り組みを進めてまいります。

7款、土木費につきましては、1億9,758万円減の7億9,904万円を計上いたしました。道路等の改良工事については、路線の通行量や重要性、修繕の緊急度などを総合的に勘案し、計画に沿った整備を進めてまいります。また、河川維持管理費では、河川の氾濫や浸水被害を未然に防ぐため、緊急度の高い区間についてしゅんせつ工事を順次実施することとしております。

8款、消防費につきましては、2,525万円減の3億1,500万円を計上しました。防災システム関連工事としまして、防災無線の屋外子局のバッテリー交換に要する経費を新たに見込んでおります。

9款、教育費については、3億3,341万円増の8億8,411万円を計上しております。学校予算では、空調設備・LED照明器具の整備に関する工事費として2億2,322万円、スクールバス購入費として1,395万円を計上しております。

給食費センターでは、給食費会計の一般会計予算化による給食食材費について3,156万円増えております。前段でもご説明申し上げましたとおり、小

学生の給食無償化に加えて、中学生の給食費の半額支援をスタートさせる内容となっております。

保健体育費では、2028年予定のオープンウォータースイミングの国民スポーツ大会準備経費として637万円を見込んでおります。また、ウエルネス倶楽部の合併浄化槽の更新に伴う工事費として1,721万円を計上いたしました。

小林一茶の二百回忌記念事業につきましては、県の元気づくり支援金を活用しながら町として283万円を計上いたしました。

10款、災害復旧費につきましては、万が一の自然災害に迅速に対応できるよう、歳出科目を確保いたしました。

最後に、公債費でございますが、償還計画に基づき1,040万円増の5億6,727万円を計上いたしました。

以上を申し上げます、一般会計予算案の概要説明とさせていただきます。

続きまして、特別会計の予算案につきまして、概要をご説明申し上げます。

はじめに、国民健康保険特別会計でございますが、7,206万円減の9億8,244万円といたしました。

後期高齢者医療特別会計につきましては、2,165万円増の1億7,705万円といたしました。

介護保険事業特別会計につきましては、8万円減の10億5,405万円といたしました。

古海診療所特別会計については、100万円増の581万円といたしました。

次に、公営企業会計について申し上げます。

はじめに、水道事業会計でございますが、収益的収支では、収入として2億587万円を、支出として2億878万円を計上しております。またスマートメータ導入などに関する一般会計からの出資金として、4,217万円を見込んでおります。

下水道事業会計でございますが、収益的収支では、収入として4億4,249万円を、支出として4億9,912万円を計上しております。また、し尿投入施

設が完成しましたので、し尿等の受入れ及び処理を柏原浄化センターで行います。

また、令和8年からの3年間、公共下水道2施設、農業集落処理3施設、小型合併浄化槽維持管理を含めた汚水処理施設に関する包括委託のための経費として9,884万円を見込んでおります。

病院事業会計につきましては、収益的収支では、収入として15億6,508万円を、支出として19億947万円を計上しております。また、一般会計からの繰入総額は、7億9,323万円を見込んでおります。

以上を申し上げ、令和8年度特別会計及び公営企業会計に係る予算案の概要説明とさせていただきます。

次に、令和7年度一般会計補正予算につきましては、主には年度末を控えて事業費の精査を行うとともに、国の補正予算に関連する事業に要する経費として、未来交付金事業の地域防災緊急整備事業3,816万7千円の増額補正をお願いするものです。

また、国民健康保険及び介護保険事業の特別会計、病院事業、水道事業及び下水道事業の公営企業会計につきましても、それぞれ事業費の確定に伴う補正をお願いするものでございます。

以上、申し上げましたとおり、本会議にご提案いたします議案は、令和8年度当初予算関係が8件、令和7年度補正予算関係が7件、条例関係11件、その他4件の合わせて30件でございます。

いずれも今後の町政運営にとって重要な案件でございますので、ご審議を賜り、ご決定くださいますようお願い申し上げます、3月会議再開のあいさつといたします。